

2021 ~ 2022 年度国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

●会長 吉田 嘉昭

●幹事 松岡 泰光



No.1743 令和 03 年 09 月 08 日 第 09 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務局 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email [serc@serc2720.org](mailto:serc@serc2720.org)



■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリーソング「手に手つないで」

■会長の時間 (会長 吉田嘉昭)

「ブレインストーミング」



会長の時間

「ブレインストーミング」

2021年9月8日  
会長 吉田 嘉昭

ブレインストーミングを活用する場面とは

解決したい問題があるが、よいアイデアが浮かばない  
新しい企画が思い浮かばない  
自分一人ていくら考えても限界があり、頭の中で堂々廻りしてしまふことがあります。  
自分とは違う知識や経験を持った人たちにアイデアを出してもらって解決することがあります。

効率的にアイデアを出し、新たな発想を得たい時は複数人のブレインストーミングは有益です。

3.ブレインストーミングの基本ルール4つ

- ① 絶対に批判しない
- ② 自由奔放に意見を出す
- ③ 質よりも量を重視する
- ④ アイデアを発展させる

ブレインストーミングを成功させるためにとても重要なので、参加メンバー全員が意識する必要があります。

② 自由奔放に意見を出す

固定概念にとらわれずとにかくみんなのアイデアを出すことがブレインストーミングの目的です。そのため、「こんなアイデアを言ったら笑われるかも・・・」と思わずに、自由に発言することが大切です。

突飛なアイデアの中に、斬新なアイデアが隠れているかもしれません。参加メンバー全員が積極的に発言できるように、「奇抜なアイデアを歓迎する」くらいの雰囲気進めていきましょう。

1.ブレインストーミングとは

ブレインストーミング (Brainstorm) とは、会議に参加する人たちが自由な発想で意見を出し合い、課題解決のため新しいアイデアを生み出すための手法のことである。

ブレイン (brain) は脳、ストーム(storm)は嵐を意味するように、ブレインストーミングは、「脳に嵐を巻き起こし、多様なアイデアを出す」ことを目的としている。

1938年アメリカの BBDO 広告会社の副社長 A.F.オズボーンが考案

2.ブレインストーミングのメリット

- ① 新しいアイデアが生まれる  
ブレインストーミングは、自由に意見を交換しながら、複数のアイデアのいいとこどりをして、アイデアを発展させていきます。すると、アイデアの連鎖が起きて、ひとりでは思いつかない斬新なアイデアが生まれる可能性があります。
- ② 参加メンバー同士の仲が深まる  
ブレインストーミングは、お互いの意見を批判せずに、自由な意見を出していきます。そのため、気軽に意見交換ができるので、参加メンバー同士の理解が深まり距離がグッと近くなります。
- ③ 参加メンバーの視野が広がる  
ブレインストーミングは、ほかの人のアイデアを聞くことができます。「そういう考え方があったのか」という気づきがあります。そのため、参加メンバーが視野を広げることができま

① 絶対に批判しない

誰かの意見を絶対に批判しないことが、ひとつめのルールです。なぜなら、自分の意見を否定されると自由な発言ができなくなってしまうからです。

ちなみに、批判はダメですが、「OOOはいいですね！さらに△△するともっと良くなりそうです」と肯定してアドバイスすることは問題ありません。

お互いのアイデアのいい面を褒めていくと、その場の雰囲気はよくなり、活発な意見交換につながります。

③ 質よりも量を重視する

ブレインストーミングの目的はアイデアを出すことなので、アイデアの質よりも、まずは量を出すことを重視します。

ブレインストーミングはアイデアの量を増やすことで、アイデアを発展させて質を高めていくものです。

そのため、アイデアを思いついたら、「こんな平凡なこと言ったらダメかな」と思ったりせずに、どんどん発言してください。

④ アイデアを発展させる

ブレインストーミングでは、積極的にほかの人のアイデアに便乗し、アイデアを組み合わせます。お互いのアイデアのおもしろい点を見つけていくと、それをヒントに自分のアイデアも出しやすくなります。



4.ブレインストーミング開始前の準備

- ① テーマを明確にして参加メンバーに事前に知らせておく。テーマは大きくすぎないこと。
- ② 参加メンバーの選定 (5~10人)  
能力や経験面を基に多様な人材を集める。
- ③ リーダーの選定  
おだて上手や乗せ上手な人をリーダーにする。参加者が萎縮しないように上司はなるべく避ける。
- ④ 書記の選定  
生まれたアイデアを書き留める。口頭で話された意見を記録するので、適性がある人を選ぶ。字が上手な人がよい。
- ⑤ ホワイトボードや付箋の用意  
書記は、ホワイトボードに出てきたアイデアをどんどん記入していく。

5.ブレインストーミングの進め方

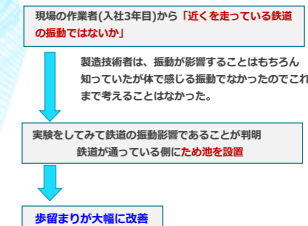
- ① リーダーは参加メンバーに自由に発言させる  
4つの原則に従い、皆が発言しやすい雰囲気作りを努める。発言しにくいような参加メンバーに上手に話を振るなど、全体に気を回す必要がある。雑談をしないようにする。
- ② 書記は、参加メンバーが発言したアイデアをホワイトボードに書き込んでいく。
- ③ ダラダラと進めず、あらかじめ時間決めたりやアイデア数がいくつまでなどを設ける。  
脳に嵐を巻き起こすわけですから長時間は無理
- ④ 参加メンバーが楽しむことが重要である。やらせられてはNG

7. 事例 半導体工場

問題点  
ウェハから多数のICチップ生産する際、他の工場より歩留まりが悪い。  
1枚のウェハから生産できるICチップが少ない。

ブレインストーミング実施

- 参加メンバー  
製造技術者  
品質管理部門  
生産管理部門  
現場の作業者 の混成チーム



■幹事報告 (幹事 松岡泰光)

■来信案内



1) 堀川貴史ガバナーエレクト、作守順子 次期地区幹事より、地区委員推薦のお願い。

国際ロータリー第2720地区2022-2023年度 職業奉仕部門 副部門長 古田哲朗 会員

2) 大森克磨ガバナーより、災害見舞金送金について。佐賀・長崎豪雨 (国際ロータリー第2740地区) に100万円の送金。

3) 大森克磨ガバナー、江川好洋 米山記念奨学会部門長、立野文生 米山資金推進委員長より、米山奨学生卓話申込みの案内。(今年

度はコロナの影響を鑑みクラブ訪問の代わりにDVDを配布)

4)  
和歌山東南RCより、姉妹クラブWEBミーティング日程のお問い合わせ。

候補日 10月11日(月)  
10月12日(火)  
いずれも12時から1時ごろ

■一般

1)  
社会福祉法人慈愛園 シオン園より、広報誌「れいんぼう第40号」の送付。

■クラブより

1)  
第3回定例理事会報告。

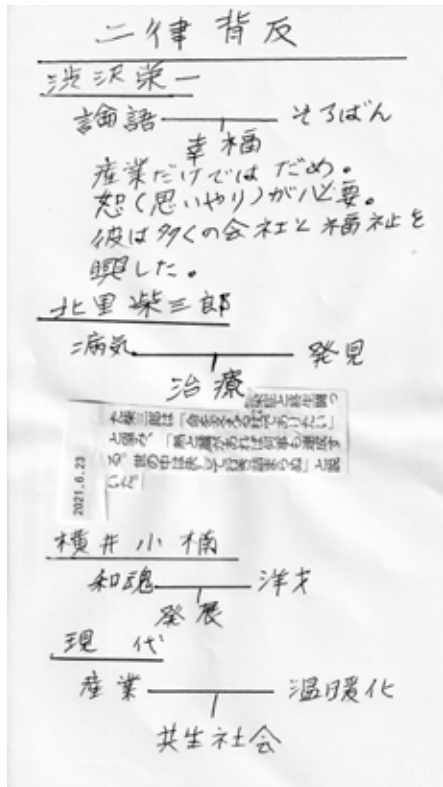
2)  
国際ロータリー第2720地区2022-2023年度地区委員の当クラブからの推薦について。

■今後の行事

2021	10月2(土)	ロータリー財団 セミナー	熊本県上 益城郡 嘉島町	嘉島町民会館 (ハイブリッドセミナー)
		吉田嘉昭、古田哲朗		

■ロータリー情報の時間

(ロータリー情報担当 潮谷愛一)



■委員会報告

(社会奉仕担当 代理松岡泰光)



延期になっている慈愛園サマーキャンプ(ミルク牧場)の件は、慈愛園さんに確認しましたが、10月も現時点では実施が難しいとのことでした。今後の実施も難しそうとのこと。

■委員会報告

(青少年奉仕担当 宮川義行)



熊本東南ロータリーアクトクラブ  
9月第1例会の案内。  
9月14日(火) 19:00~  
市民会館シアーズホーム夢ホール・第2会議室  
(オンライン参加も可能なハイブリッド例会です)

■出席報告

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
08月25日	44 (免4) 40	26	14	40	100.00
09月08日	44 (免4) 40	24			60.00

☆出席免除

08月25日 住江正治 島村徹男 志賀重人 古庄浩二

■会報・雑誌委員会卓話

(会報・雑誌担当 沼田敏雄)



委員会卓話  
・委員会活動計画  
・ロータリーの友の紹介



2021年9月8日  
熊本東南ロータリークラブ  
クラブ管理運営委員会  
会報・雑誌 沼田 敏雄

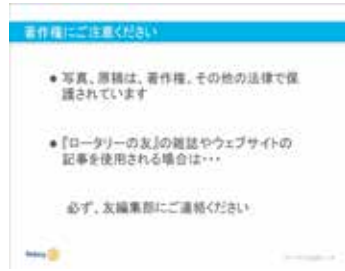
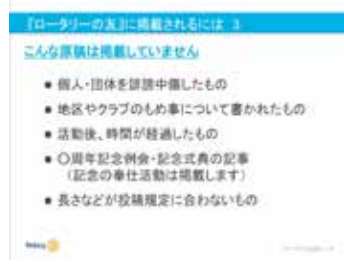
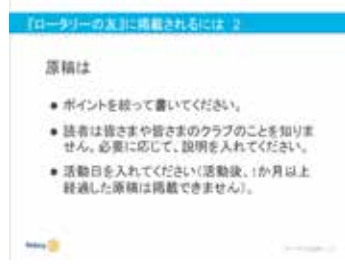
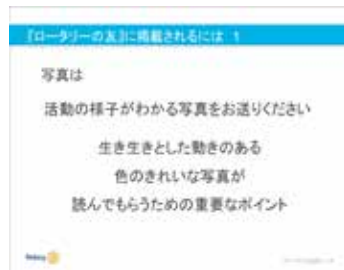
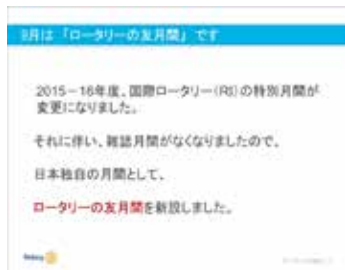
RID 2720 KUMAMOTO SOUTHEAST ROTARY CLUB 2021-2022



委員会活動計画

委員会	クラブ管理運営委員会
委員長	中島祐樹
担当職務	会報・雑誌
構成	会報・雑誌・受付
担当委員	沼田敏雄、(副) 川崎直樹
委員	山本浩之、橋山佳之、山崎哲生、川崎直樹、松田和成、武末直大、吉永陽三
活動方針	(1) 『ロータリーの友』記事紹介。 (2) 委員会活動を幅広く会報(週報)に掲載する。 (3) もっと仲間を知らう！をテーマに「会員紹介(家族を含む)」を会報に(週報)にて紹介する。(家族写真掲載)
実施計画	(1) 発表される内容の原稿を作成提出される事をお願いする。(メールでもOK) (2) 会員申請に對しては原稿作成提出をお願いする。特に外部申請を依頼される場合は、事前に原稿作成のお願いをさせて頂く。 (3) 特に委員会報告は会員に、事業結果、予定計画等を知らせる事が多いので、原稿提出は即にお願したい。 (4) 去年に続きスマイルされた方の顔写真を掲載する。 (5) もっと仲間を知らう！のテーマに對して、会員に別紙の様式を配布し、各項目に記入をお願いする。(特に職業内容は詳しく記入) (この紹介は週報ページに余裕スペースがある場合に掲載する)





※上記卓話は、熊本東南ロータリークラブのホームページ  
 会員専用ページに掲載しましたのでご覧ください。  
<https://www.serc2720.org/memberpage/index.html>

■点鐘

9/8 オンライン例会 YouTube を下記でご覧下さい。

<https://youtu.be/eoxcX8Ka4DM>



熊本東南ロータリークラブのホームページでも閲覧できます。  
<https://www.serc2720.org/online/>  
 ID とパスワードが必要です。事務局へお問い合わせ願います。



# 適応力であなたの RYLA を創造する

投稿日: 9月3, 2021

寄稿者: カレン C. ロープ (米国コロラド州のロータリー会員)



ロータリーで最近、「多様性、公平さ、インクルージョン」(DEI)という言葉をよく耳にします。DEIと聞いて、RYLA (ロータリー青少年指導者養成プログラム)

を思い浮かべる人はいないかもしれませんが、RYLAでも DEI を強化することができます。

第 5450 地区 (米国コロラド州) では、「RYLA プラス」と銘打った、障がいのある青少年を対象とする活動を行っており、障がい者支援団体 Easterseals Colorado との提携の下、障がい者法に準拠した施設でユニークなプログラムを開催しています。参加者のニーズをサポートするため、訓練された医療スタッフとカウンセラーが配置されています。「1 週間うちの子に何をしたの?」と言う保護者もいますが、それは参加者のポジティブな変化を目の当たりにし、誇りをもってそういってるのです。

## 個人的な動機

私たちがロータリーで行うことの多くは、個人的な動機から始まります。私は、姉が交通事故で両足を切断したことをきっかけに、大学で障がい者と協力するようになりました。水泳を習って自信をつけた学生たちを見て、自分も人を助けることでインパクトをもたらせることを実感しました。だから、私のロータリークラブが新しいプロジェクトを検討していたとき、私はすぐに、身体障がいのある若者を対象とした RYLA プログラムの実施に取り組みました。意外なことに、Easterseals Colorado とロータリーの間には、素晴らしい歴史的つながりがあることも知りました。Easterseals Colorado 創設者のロータリアン、エドガー・アレンは、ポール・ハリスの親しい友人だったのです。

## 周到的な準備

これを実現するためのステップとして、参加者のニーズに合わせた調整を行う必要がありました。参加者を募集するための学校やクリニックとの関係構築、キャンプへの無料参加を可能にするための複数クラブからの資金調達、ロータリアンと青年のカウンセラーの確保などです。起草から 8 年、これまでに 7 回の対面式キャンプを開催し、大きな成功を収めてきました。これは、周到的な準備と適応力、そして参加者や保護者からの信頼があったから実現したことです。

## 多くを学ぶ参加者

参加者は新しい友人を作るだけでなく、歓迎されていることを実感でき、万全の受入態勢の中でキャンプを体験できます。かつて

のキャンプ参加者がジュニアカウンセラーとなり、運営を手伝ったり、報告会をリードしたりする姿も見られます。また、自らの障がいを克服してスポーツや組織で成功を収め、社会に貢献している講演者から刺激を受けることができます。参加者は、問題解決、チームワーク、そして物理的なチャレンジ (クライミングウォールやジップライン) の克服について学びます。チャレンジに挑む参加者には皆で拍手を送ります。キャンプ修了者は、パラアイスホッケーの全米代表チームに入ったり、毎週授業でプレゼンテーションを行うクラスに入学したり、大学を卒業したりと、自信と新たな挑戦への意欲を高めています。保護者からも、参加者がより自立し、自分で目標を立てるようになったとの報告を受けています。何よりも嬉しいのは、多くの参加者が翌年もジュニアカウンセラーとして参加し、リーダーシップのスキルをさらに高めると同時に、自分と同じような人が充実した経験を得られるよう手助けをしてくれることです。

## スペシャルな RYLA を創造しよう

私の夢は、RYLA プラスが世界中のロータリーで再現されるようになることです。皆さんの地元で Easterseals Colorado のような施設がない場合は、障がい者のためにどのようなリソースが利用できるかを詳しく調べてみてください。RYLA プラスのような活動のほかにも、若者のためにインクルーシブな活動を行う方法はあります。既存の RYLA プログラムをアレンジして、さまざまなニーズのある人や、多様な背景、ジェンダー、性的指向の人などを受け入れる方法を考えましょう。地域社会のニーズや課題を検討し、公平さを高める体験を企画しましょう。計画委員会、参加者、ボランティアについて検討する際は、奉仕するコミュニティの多様性を反映させましょう。何をやるにしても、皆さんには人びとの生活を変える力があることをご理解ください。どのような経験をされるにしても、それはロータリーでの最高の経験となるでしょう。

RYLA プラスに関するご質問は、[kcloeb@gmail.com](mailto:kcloeb@gmail.com) までご連絡ください。

ロータリーボイスより



<https://rotaryblogja.org/>